

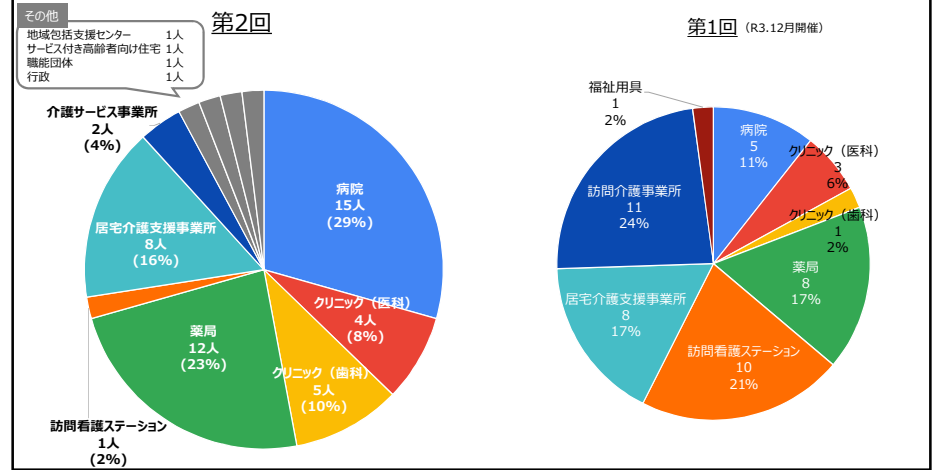
令和4年12月13日（火）開催

第2回 在宅医療を支える多職種学習会 アンケート結果

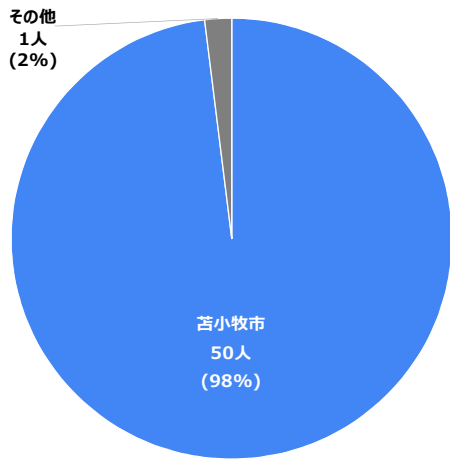


参加者 71人
有効回答 51件
回答率 71.8%

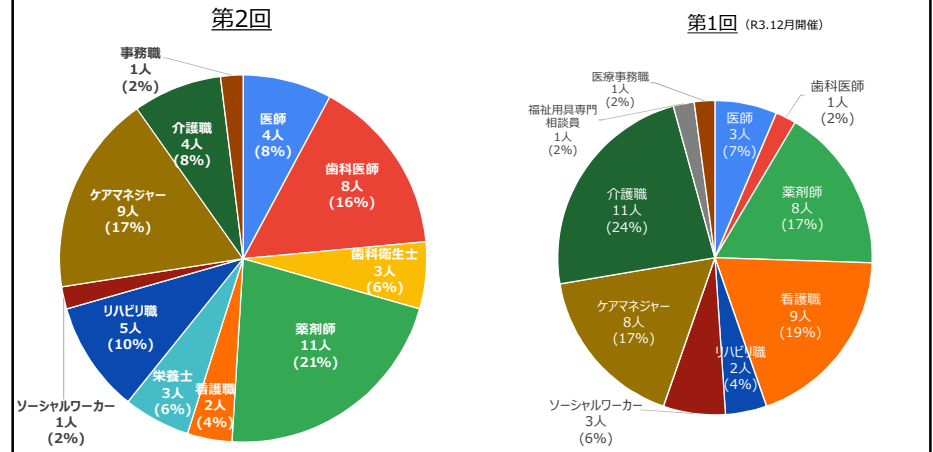
問1 該当する所属機関を1つお選びください。



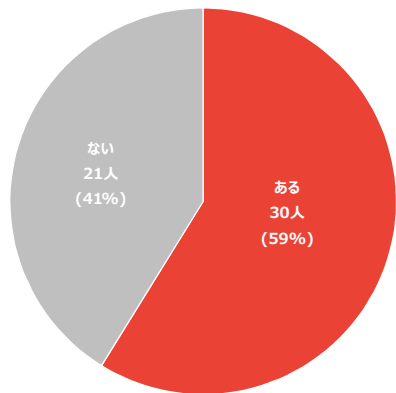
問2 所属機関の地域を選択してください。



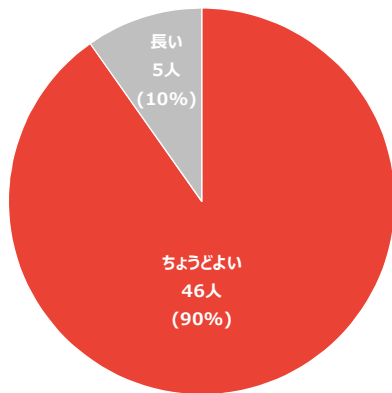
問3 該当する職種を1つお選びください。



問4 この一年間で在宅医療に関わったことがありますか。



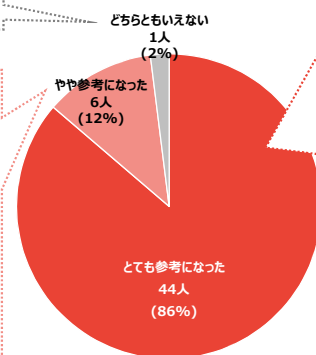
問5 学習会の時間はいかがでしたでしょうか。



問6・7 講演は参考になりましたか。また、その理由について教えてください。

・歯科口腔外科の摂食専門医という専門的な知識と経験がないとできないため

・「食べる」ことに対して、とても理解が深まった。職種の違う方々の内容について、すぐ実践できることは少ないかもしれないが、これまでとは違った視点で患者を観察できると感じた。
 ・STの嚥下評価と訓練だけでは不足していると感じることが以前からあった。「かにやしろえび」のような確認すべき範囲は非常に参考になった。
 ・専門職ではないため難しい事も多かったが、長谷先生の話もとても聞きやすく、今後業務にあたり高齢者の食生活について意識したいと思った。
 ・嚥下困難患者の散剤服用について



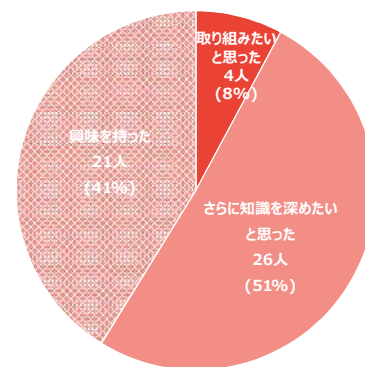
・「食べることは生きる事だと思っています。最後の瞬間まで、いかに「口から食べることができか」。高齢者の生活に近くにいる者として、真剣に向き合いたいと感じました。ご本人が食べることを諦めない体制作りを今後していきたい。自分だけではあまりに知識不足なので、ここでこそ多職種連携が必要だ!と思いました。
 ・とても勉強になった。回復期の管理栄養士として嚥下機能や食事に携わっているが、なかなか在宅に目を向けられずにいました。病棟でも何か食べられるのではと思いながら食べるお手伝いができればと思う。ミールラウンドの重要性を感じた。全部は無理だが一人ひとりを考えた栄養管理をしたいと思った。
 ・現在薬局に来られる患者様で食事が取れず、経腸栄養剤のみで繋いでいる方がいる。普段ならよりカロリーの高い経腸栄養剤や高カロリーゼリーを勧めるが、この講義を受けたことで、口腔内の環境はどうなのか、食事認知はどうなのか等より広い視点で疑問を持つことができた。患者様へのアドバイスにもとても役立った。
 ・今まで嚥下機能の低下ばかりが目についていたが、食材の見た目や本人の嗜好等もとても重要であることが分かった。

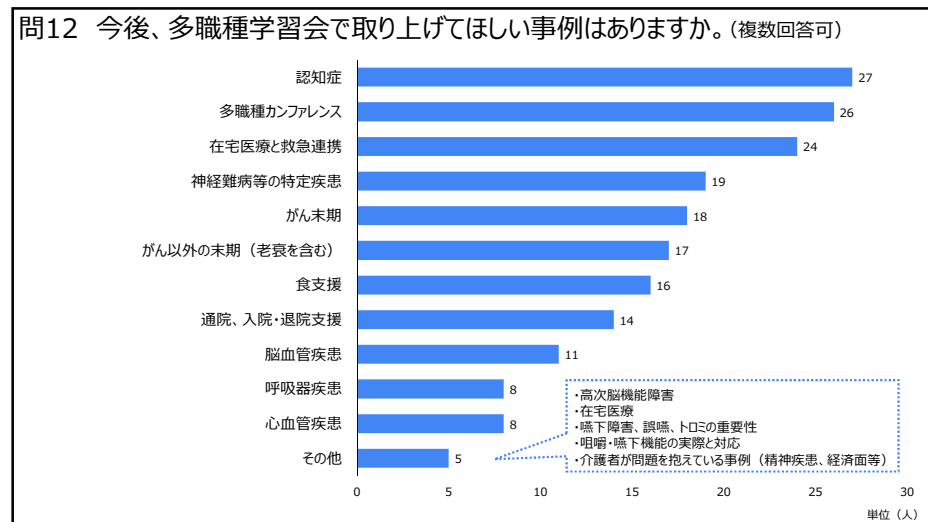
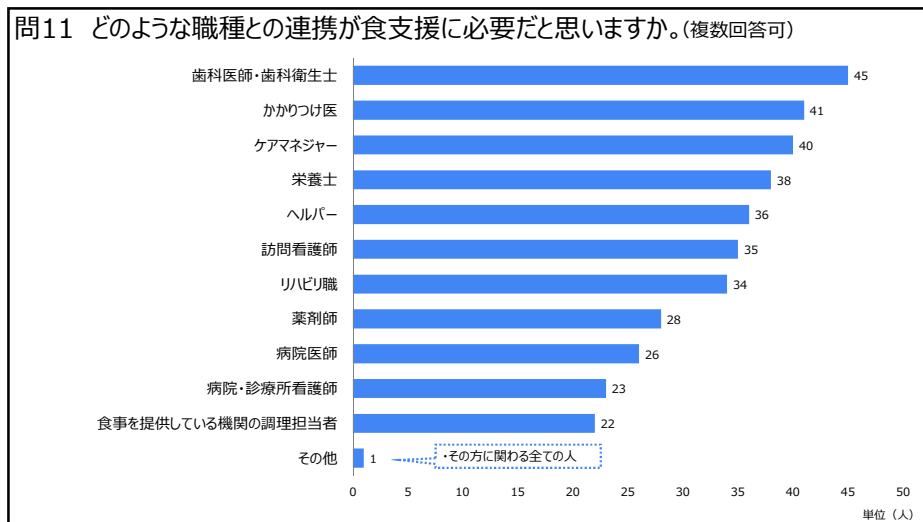
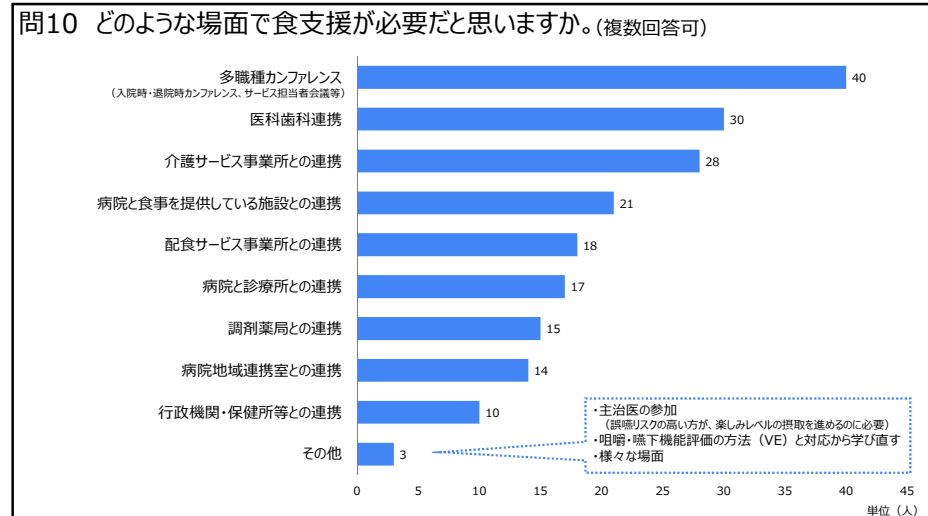
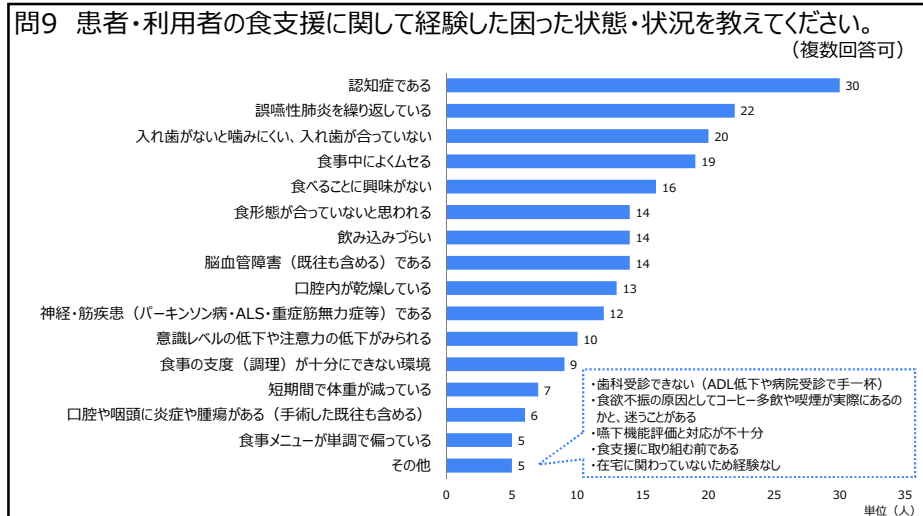
問7 他の回答

<とても参考になった>

- ・ 終末期の患者様が多い中、エビデンスに基けられている事が多いと気づいた。病院勤務なのでナラティブベースのケアはなかなか難しいが、食支援の目的をしっかりと考えていきたいと思う。
- ・ 嚥下機能が落ちると食べることが出来なくなる方々をみてきました。きちんと評価し訓練し食べれるようになること、とても素晴らしい。私は歯科衛生士でもあり、ケアマネでもあるので、こういった取り組みはすぐにはかなえられないかもしれないが、できるようになることを望みます。
- ・ 居宅での食支援について、依頼元がケアマネだけではないこと、訪問看護ステーションや家族からの依頼で食支援につながっていくことが参考になった
- ・ 食欲不振や体重減少の原因が何か分からないことが多く、「かにやしろえび」でチェックボックスを参考にしていきたい
- ・ 機能的な部分だけでなく、患者様の食べる意欲なども考慮する事が重要と分かった
- ・ 急性期・回復期・療養病院・施設・在宅と食形態の連携に悩む地域が他にもあり、連携がとれるようになっているのは非常に参考になった
- ・ 口腔ケアから意欲につながる実例が勉強になった
- ・ 歯科医師の熱い情熱と関わる方たちの思いで、本人の思いが分かっていくんだ、最初からあきらめてはいけないのだと思った
- ・ 職場では嚥下障害の患者様の対応をしているが、機能面だけでなくその人一人一人についてチームで考えていく必要性があると考えているため
- ・ 食べる力を高めるとして良かった
- ・ 食支援の大切さを改めて実感。食べないのではなく食べられないという事の意味を理解して、介入する事で、見違えるようにお元気になる様子等。
- ・ 人の食べる力を維持するためのノウハウ、考え方、実践のルートを示していただいた。今後参考にしたい。
- ・ 多職種でのかかり方や施設間で食事のある程度の統一できた点
- ・ 多職種で関わるうえでツールの活用必要性について紹介。事例。
- ・ 咀嚼・嚥下機能評価について、学ぶ必要を痛感した

問8 今回の学習会に参加して、「食支援の大切さ」についてどう思われましたか。





問13 その他、多職種学習会についてのご意見、ご質問があればご記入ください。

- 勤務体制上、在宅に関わっていないのですが、興味があり参加させて頂きました。薬剤師として関わることがある事が参考になりました。今後の業務に役立てていければと思います。ありがとうございました。
- 今回、参加してみて多職種連携が大事であり、今後、必要なことと感じました。また、参加する機会があれば、是非参加させていただきたいと思っています。
- 「い〜とみるカード」を使って、アセスメント力を高めたいと思います
- 内容とてもわかりやすく、ズームで参加しやすかったです
- 今後も1年に4回程度でコンスタントに開催していただければありがたいです
- 大変参考になりました。また参加させて頂ければと思います。ありがとうございました。
- 素晴らしい企画と思います。感謝です。
- 有意義なお時間ありがとうございました
- 研修の機会を与えていただきありがとうございました
- お疲れ様でした。またよろしく願っています。

アンケートにご協力いただきありがとうございました